

屈斜路湖でのフィッシングルール&マナー

自然を守りながらフィッシングを楽しむために

このルールは、釣り人全員に守って頂きたい自主的なルールです。将来にわたって持続的に釣りを楽しむため、自然環境や魚類資源を守りながら釣りを楽しみましょう。また、地元のアイヌ民族が生計のために営んでいる漁については、本ルールにとらわれず十分尊重して下さい。(詳しくはこの面の「バリモモの紹介」をご覧ください)

守って欲しいルール

- **魚類資源を大切に**
 - 流入河川での釣りをせず、産卵魚を守りましょう
 - 稚魚は釣らずに、育てましょう
 - キャッチ&リリースに努めましょう ※詳しくは下面に
- **自然環境を大切に**
 - ゴミは必ず持ち帰ります ● 山火事に注意しましょう
- **安全対策をしっかり**
 - 観光客がいるところでは、釣り竿を振ってはいけません
 - 氷上釣りは、危険ですのでやめましょう
 - 船釣りでは救命胴衣を着用しましょう
 - 遊漁監視員の指示に従いましょう
 - 天候を確認し、ムリをしないようにしましょう
- **民有地に駐車するときなどは、必ず了解を取ること**
 - 農道への駐車は農作業の妨げとなり、トラブルになります
- **船舶の航行については公共桟橋の利用をお願いします**
 - 公共発着場は、「仁伏公共発着場」と「屈斜路ウオータースポーツ交流公園」の2ヶ所です。
 - 屈斜路湖適正利用協議会発行の「屈斜路湖利用の安全マニュアル」を遵守して下さい。

屈斜路湖フィッシングルール&マナー(ガイド版)

■平成28年3月
発行/ 弟子屈町 環境生活課
TEL (015)482-2191 内FAX (015)482-2696 内
HP <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/> E-Mail kankyo@town.teshikaga.hokkaido.jp
協力/KFC(屈斜路湖フィッシングクラブ)
事務局/フライショップ チニタ TEL (015)486-7114 Email kita00@amail.plala.or.jp

R U L E

屈斜路湖フィッシング ルール&マナー

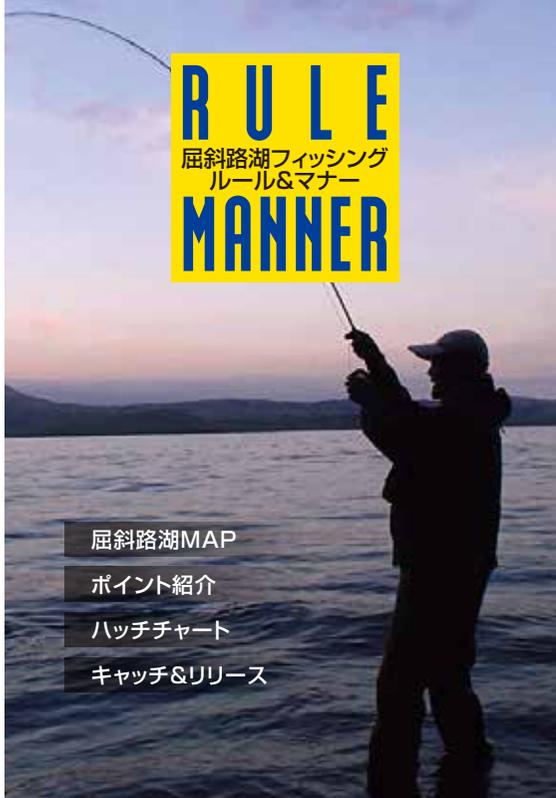
M A N N E R

屈斜路湖MAP

ポイント紹介

ハッチチャート

キャッチ&リリース



国立公園・国有林の利用に関するルール

屈斜路湖及びその周辺は、自然公園法に基づく国立公園の特別地域に指定されています。また、周辺の多くは国有林で各種保安林にも指定されています。このため、屈斜路湖で釣りをする際には自然環境や景観の保全を常に心掛け、誰もが気持ちよく利用できるよう、以下のルールやマナーを守ってください。



■自然公園法に関わるルール

- ① キャンプ・たき火
キャンプ場以外でのキャンプは禁止されています。また、湖周辺の自然環境を守るためにキャンプ場以外でのたき火はやめましょう。
- ② ごみ捨て・騒音等
ゴミのポイ捨て・騒音といった公園の利用者に著しく迷惑をかける行為は禁止されています。
- ③ 船の乗り入れ・係留
屈斜路湖周辺は豊かな森になっています。森や湖畔の植生等を守るため船の乗り入れ・係留の際には公共桟橋(仁伏、屈斜路ウオータースポーツ交流公園)を利用しましょう。



■国有林の利用に関わるルール

国有林道は、安全対策や災害防止などの監理運営上、やむを得ずゲート等を閉鎖し、通行止めとしてある場合がありますので、その場合は入林を控えるようにしてください。林道ゲート解放時は入林が可能となりますが、林道を走行する際には以下のルールやマナーを守ってください。

- ① スピードは控える。(設計速度は時速30kmです)
- ② カーブなどの見通しの悪い場所では、十分減速する。
- ③ 路肩に寄らない。(湖側では路肩崩壊、山側では側溝があります)
- ④ 林道以外の区域では、車両等の乗り入れは控えて下さい。
※長い年月をかけて育った樹木等が倒されて裸地が広がり、貴重な自然が失われてしまいます。
- ⑤ 立入制限の標示がある区域には、絶対に立ち入らない下さい。
- ⑥ ゴミは必ず持ち帰り下さい。
- ⑦ タバコなどの火の始末にご協力下さい。



《国立公園の利用・自然公園法に関する連絡先》
環境省川湯自然保護官事務所 ☎(015)483-2335
《国有林の利用に関する連絡先》
根釧西部森林管理署 ☎(0154)41-7126

魚類の生息状況

現在、屈斜路湖で生息している主な魚類

以前は水質が良くなかったことから、トゲウオの一種イトヨ程度しか生息しない「死の湖」と呼ばれていましたが、水質の回復や放流事業の成果などにより、多くの魚類が生息できる環境となっております。



ニジマス *Oncorhynchus mykiss*



アメマス *Salvelinus leucomaenis*



ヒメマス(ベニザケの陸封型)
Oncorhynchus nerka



サクラマス *Oncorhynchus masou*



エソウグイ *Tribolodon brandtii*



ウグイ *Tribolodon hakonensis*



イトヨ *Gasterosteus aculeatus*



ワカサギ *Hypomesus nipponensis*

キャッチ&リリース

屈斜路湖は、阿寒国立公園の希少な大自然の中でのスポーツフィッシングを楽しみに、全国各地から多くの釣り人が訪れるフィールドです。しかし、魚の資源量は決して多くはありません。町では、釣りを楽しんだ後は魚を再び湖に返す「キャッチ&リリース」を推奨しています。釣った魚も正しくリリースすることにより、大半は生き延びて子孫を残し、将来にわたる魚の維持保全が期待できます。

- ① バーブレスフック(カエシのない針)を使用する
- ② 魚に触れる際は水で手を冷やす
(人間の体温で魚がやけどするのを防ぎます)
- ③ 魚からフックを外すときは、できるだけ多くの水の中で外す
- ④ 魚を強く握ったり、エラに指を入れたりしない
- ⑤ フックが深く入った場合は無理矢理外さず、フック自体を切る
- ⑥ 釣られた後の魚は体の均衡を崩した弱った様に見えますが再生します。水の中で魚を前後にそっと動かし、体の均衡が保たれた後リリースしてください。



アイヌ民族の漁〜バリモモの紹介〜

屈斜路湖コタン周辺では、野山に木の実や山菜が、屈斜路湖にはたくさんの魚が棲息し、アイヌ民族の豊かな食文化を支えています。現在そのような伝統生活はあまり見ることができませんが、民宿レストラン「丸木舟」ではアイヌ詩曲ダンスとともに、「バリモモ(ウグイ)料理」を食することができます。

丸木舟経営のアドイ氏は、湖の神に感謝し、バリモモを捕りすぎて絶やさないように釣っています。多くの釣り人がマス類を狙う中で、アイヌ民族は昔からバリモモやオピラメ(イトウ)など自然の恵みを大切に、神々に感謝しながら生きる糧としてきました。

現在、弟子屈町を訪れる遊漁者の多くがニジマスやアメマスのスポーツフィッシングを楽しみ、また一部には販売目的としたヒメマスの乱獲も見られる中で、アドイ氏が営んできたバリモモ漁は、貴重な伝統文化の継承として尊重されるべきものです。

(参考資料:北海道新聞2004.6.4記事)



関係機関の連絡先

《緊急時の連絡先》

- 弟子屈消防署 ☎015-482-2073
- 弟子屈消防署川湯支署 ☎015-483-2216
- 弟子屈警察署 ☎015-482-2110
- 弟子屈警察署川湯駐在所 ☎015-483-2151
- 弟子屈町役場 ☎015-482-2191
- 摩周厚生病院 ☎015-482-2241
- 釧路地方気象台 ☎0154-31-5110

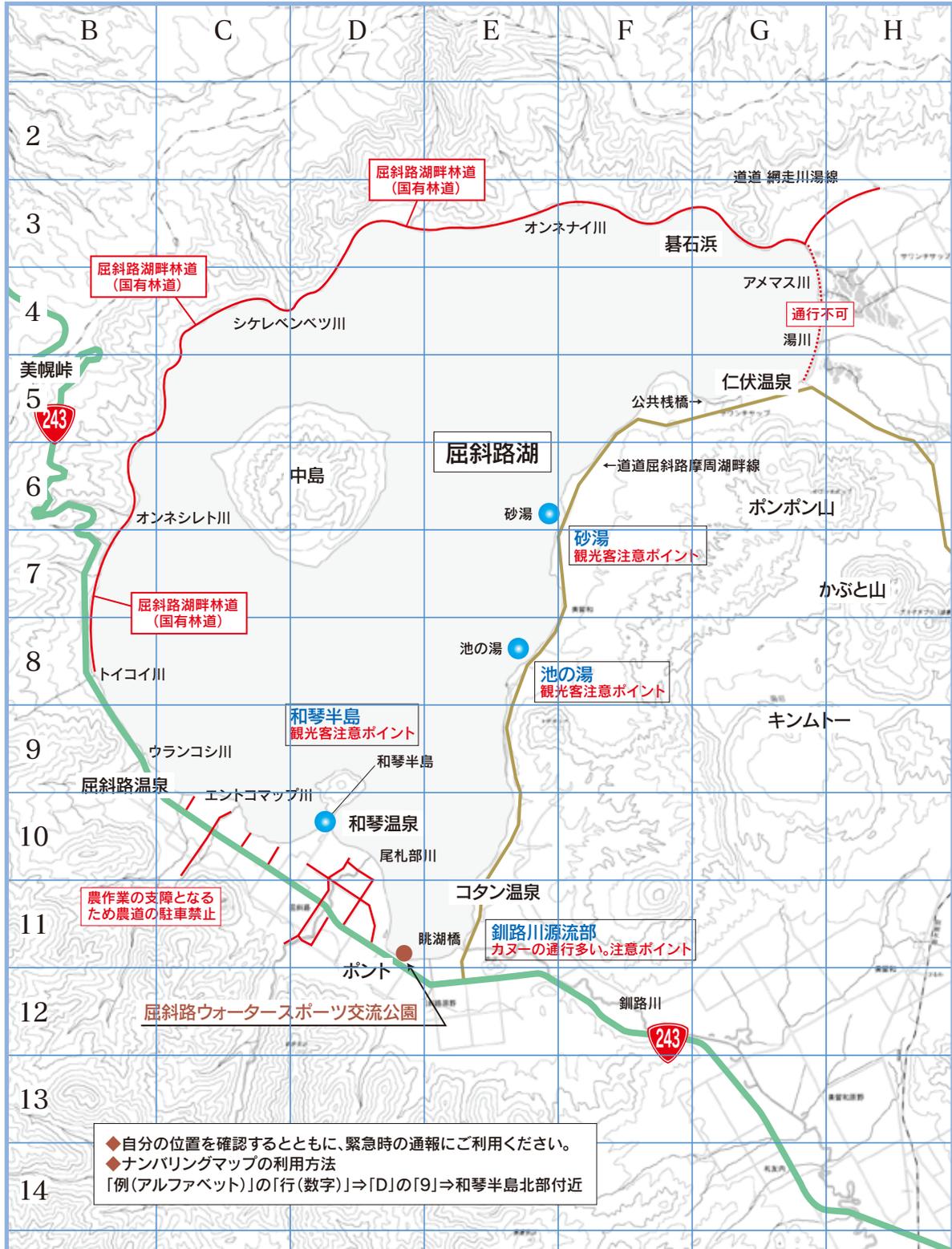
※携帯電話での119番通報は、弟子屈消防署に、110番通報は北海道警察釧路方面本部につながり、そこで場所を特定してから管轄の消防署・警察署へ連絡されますので、場所などは正確にお伝え下さい。(裏面屈斜路湖マップのナンバリングを参照)。

《交通機関・その他の官公庁など》

- JR摩周駅 ☎015-482-2030
- 阿寒バス摩周営業所 ☎015-486-7716
- 摩周観光レンタカー ☎015-482-2260
- タイムズカーレンタル ☎015-482-5688
- 摩周ハイヤー ☎015-482-3939
- 環境省川湯自然保護官事務所 ☎015-483-2335
- 根釧西部森林管理署弟子屈森林事務所 ☎015-482-2469
- 釧路開発建設部弟子屈道路総合事務所 ☎015-482-2327
- 釧路建設管理部弟子屈出張所 ☎015-482-2147

《観光・宿泊案内》

- (一社)摩周湖観光協会 ☎015-482-2200
- 道の駅「摩周温泉」観光案内所 ☎015-482-2500
- JR摩周駅観光案内所 ☎015-482-2642
- 株式会社 ☎015-483-2101



屈斜路周辺におけるハッチャート

屈斜路湖周辺ハッチ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
モンカゲ						●●●	●●●					
ミツグマダラカグロウ						●●●	●●●					
マダラカグロウ							●●●	●●●	●●●	●		
コカグロウ			●	●●●	●●							
ヒラタカグロウ								●	●●●			
イトトンボ							●●●	●●●	●●●			
トンボ							●●●	●●●	●●●			
アミメカワガラ							●●	●●●	●●●			
クロカワガラ		●	●●●									
ミドリカメムシ								●●●	●●●	●●●		
クロカメムシ								●●●	●●●	●●●	●●	
ハルゼミ						●●●	●●			●●●	●●	
クマゼミ						●●●	●●●	●		●●●	●●	
アメンボ					●●●	●●●			●●●	●●		
センブリ						●●●	●●●					
ヒガナガトビケラ						●●●	●●●					
ウルマシマトビケラ						●●●	●●●	●●●				
トビイロトビケラ						●●●	●●●	●●●				
ムラサキトビケラ						●●●	●●●	●●●	●●●			
蛾									●●●	●●●	●●	
テントウムシ										●●●	●●	
ゴミムシ									●●	●●●	●●●	
コガネムシ									●●	●●●	●●●	
マルコガネ									●●	●●●	●●●	
ユスリカ											●●●	●●●
マダラガガンボ	●●●	●●								●●●	●●	●●●
オドリバエ						●●●						
アブ									●●●	●●●	●●	
スズメバチ									●●●	●●●	●●	
羽アリ									●●●	●●●	●●	
ワカサギ					●●	●●						
ウチダザリガニ					●●	●●						
ヨコエビ									●●●	●●●	●●	●●●
稚魚	●●●	●		●●●	●●●	●●●			●●●	●●●	●●●	●●●
ゴリ				●●●	●●●	●●●			●●●	●●●	●●●	●●●
フクドジョウ				●●●	●●●	●●●			●●●	●●●	●●●	●●●
カジカ				●●●	●●●	●●●			●●●	●●●	●●●	●●●
カエル											●●●	●●●

魚種による産卵期	魚種によるIRI(飼料重要度指数)
ニジマス 10月~12月 3月~4月	ハチ目・カメムシ目・甲虫目・魚類
アメマス 10月~12月	魚類(6月10月)・ハエ目
ヒメマス 10月~12月	陸生昆虫/ハエ目・動物性プランクトン
ウグイ 6月~8月	ウチダザリガニ・藻類・魚類(オンネシレトが数が多い)ウグイとウチダザリガニは分布が似ている
ワカサギ 5月~6月	

屈斜路湖周辺生息昆虫

(水生昆虫は春季最大、夏季やや小、秋季著しく減少、冬季に徐々に回復冬から夏にかけて現存数が増え、冬にかけて減る。)

蜻蛉目(カグロウ)	マダラカグロウ・ヒメニオカグロウ・エルモンヒラタカグロウ・ヨシノマダラカグロウ・ミツグマダラカグロウ フタバコカグロウ・ヒメフタバコカグロウ・フタマタマダラカグロウ・ミヤマタガワカグロウ・エソミツグマダラカグロウ シロイロカグロウ・ナミヒラタカグロウ
毛翅目(トビケラ)	ホカイドウナガトビケラ・ナガトビケラ・ヤマトビケラ・シマトビケラ・ジョウザンエグリトビケラ・ヒガナガトビケラ
襖翅目(カワガラ)	ヒメカワガラ・クロカワガラ・オオアミメカワガラ
双翅目(ハエ)	ユスリカ・ガガンボ

ポイント紹介

G-4 アメマス川河口	なだらかな浅滩で、流入河川の河口以外は20~30m沖合い付近に水草が多く、このラインに魚が回遊する。湖へ10~20mほど立ち込みが可能。春・秋にかけて大物のが期待できる。9月下旬から10月上旬にはアメマスの大型が釣れている。ただしアプローチは北側の屈斜路湖畔林道線及び南側の道々摩屈斜路湖畔線の取り付けを500mほど入った林道橋落ち付近から、何れも1kmほどの徒歩となる。
EFG-3 碁石浜 C-4 シケレベンベツ B-6 オンネシレト	湖畔沿いに屈斜路林道が平行しておりアプローチが非常に容易な区間。車を横付けして湖に立ち込めるが、立ち木が多い。ブレイクラインが間近のため、近距離でのヒットが期待できる。林道の平行している間は全てポイントと言えるが、流入河川河口及び陸の突き出し部分がヒットしやすいようである。6月にモンカゲカグロウのハッチがあり、大型トラウトの岸よりが期待できる。また、秋の日中は11月頃までドライフライにヒットする可能性も高い。ヒグマの出没情報があり注意が必要である。また、森林作業車の通行に注意。冬季間は林道閉鎖のため立ち入りできない。
B-7・9 美幌峠林道ゲート プリンスホテル	流入小河川が数本あり、河口がポイントとなる。9月下旬から10月上旬に魚の回遊が多く、ドライフライも楽しめる。大型の回遊もあるが時間が不規則なため、粘り強さが結果を生む。
C-10 エントコマップ D-11 オサツベ	国道からのアプローチで、季節を問わず通までいけるため、非常に釣り人が多い箇所である。農耕地、及び住宅地からのアプローチ箇所もあり車の置き場、及び湖までの通行をめぐって地主とのトラブルが多く発生している。農道への駐車禁止など、注意が必要である。また、急激に深くなっている箇所があり、過去に水難事故が発生している。ブレイクラインが間近で、特に10月は、大物ニジマスの実績がある。特に和琴半島付近はシーズンより観光客が多い。注意が必要。
E-11 アウトレット	屈斜路湖の流れ出し付近は水深1~1.5mが沖に向かって10mほど続く。5月から11月まで、屈斜路湖及び鉧路川カヌーツアーがここから出発する。付近での釣りは注意が必要。アウトレットから下流の鉧路川では、時折釣果の情報あり。
E-7・8 池の湯・砂湯	春に、温泉水の流れ出し付近などで、稚魚を追いかける大型のニジマスの姿を目撃することがある。チャンス。アプローチは湖畔沿いに平行している道々屈斜路湖畔線より可能。ポイントは地形が湖に向かって突き出て、突端が浅々となっている箇所。中型の釣果が期待できる。シーズンにより観光客が多い場所がある。注意が必要。